【手掛けた事業】

特別セミナー報告「2024年 日本の広告費」徹底解説！セミナー

■開催日　：2025年7月25日（金）13：30～15：30
■開催場所：アクセス梅田フォーラム
■参加申込数：８１名（会員社、一般、大学関係を含む）
■概　要
テーマ：「2024年 日本の広告費」を起点に最新のメディアトレンドを解説！
～牽引するデジタルと復調のマスメディアから、今後の広告戦略を考える
講師：（発登壇）榊原　理恵 氏　（株）電通　電通メディアイノベーションラボ　研究主幹
「日本の広告費」の解説のみならず、「メディアトレンドの概観」「Z世代を中心とした世代別メディア行動」「これからのマーケティングに欠かせないSNSの利用実態」「テレビメディアの変化の兆し」「ローカルと都市部のメディア行動比較」について細部に亘る解説とこれからの広告コミュニケーションの方向が示された。

セミナー会場風景

榊原研究主幹

挨拶とテーマ紹介をする人材交流・会員拡充委員会の三澤委員長

全広連 広告大学　報告（ロングランでの全講義受講）

全広連広告大学は「夏期広告大学」と改称して2年目も様々な領域で人の心を動かす達人たちからその技術を学ぶ場として展開。今回は6講座を専用オ で配信し受講機会を提供。
■講座配信期間：2025年9月26日（金）～2026年 1月30日（金）
■テーマ：「AI時代のクリエイティビティ
～変わらないこと、変わること」
■ 受講料：会員及び会員が在籍する会社にいる方は登録し無料でいつでも何回でも視聴可。
一般は25,000円（全11回分）

■登壇（演題・講師）
第1回　9/26～　「AI時代のコピーライティング」梅田 悟司　氏
第2回　10/10～　「AI時代のムービープランニング」木之村 美穂　氏
第3回　10/24～　「AI時代のエクスペリエンス」田中 直基　氏
第4回　11/7～　「AI時代の戦略プランニング」太田 郁子　氏
第5回　11/21～「AI時代のクリエイティブディレクション」細田 高広　氏
第6回　12/5～　「AI時代のクリエイティビティ（総論）」並河 進　氏
（※第６回のみ 全広連都合により配信はございません）

全広連　日本宣伝賞　松下賞を受賞　報告

全日本広告連盟（全広連）の福井大会が2025年5月15日に福井市内で開催され、同席上　日本宣伝賞の表彰式典が行なわれ、大阪広告協会会員のダイキン工業株式会社井上名誉会長が松下賞を受賞された。
当日は水口執行役員が代理出席

関西学生広告連盟総会　講師派遣

■開催日　：2025年10月18日（土）10：30～12：３0
■開催場所：関西大学　千里山キャンパス　凛風館　■連盟学生参加数　40名（4大学計）
■概　要：　テーマ：「グラフィックデザインの目的から考える配色のあり方」
講師：株式会社アクアスター
アートディレクター／デザイナー　新嶋　勘一 氏
デザインの本質と目的を基軸に、ロジックを踏まえながらトレンドや心理的効果に基づいた配色について学び、実際　デジタル教材を使用し配色のワークショップも行われた。

ACC　2025 65th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS　近畿地域審査会報告

65th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDSの近畿地域審査会をCM合同研究会の協力で実施。幹事社はテレビ審査は関西テレビ およびラジオ審査はラジオ大阪が主管。また同研究会の副委員長3名、委員21名が審査員として対応。
近畿地区通過作品は10月17日に実施された本選に臨み、ACCシルバー賞の他、以下多くの入賞を果たした。

＜ラジオ＆オーディオ部門＞
・カルビー（関西味浪漫）　ACC地域ファイナリスト
・遊（床）　ACC地域ファイナリスト
・上田安子服飾専門学校　ACC地域ファイナリスト
・ソフト９９　ACC地域ファイナリスト

＜テレビ＆フイルム部門＞
・サントリーHD（伊右衛門　特茶シリーズ３作品/各180秒）　**ACCシルバー及びACC地域賞**
・豊和開発（企業CM）　ACC地域ファイナリスト
・大阪ソーダ（企業CM）　ACC地域ファイナリスト

JARO共催事業

OAA及びOAAAとともに広告関係８団体は毎年、広告・表示の適正化に資することを目的として、広告法務セミナーを２回シリーズで実施。
広告法務セミナー1は「2024年度ＪＡＲＯ広告審査の概況と事例」をテーマに、8/20に開催され2124名の聴講があった。　またセミナー２は「景品表示法の考え方と最近の運用状況について」をテーマに、9/12に開催され、消費者庁表示対策課から講師を招き415名の聴講があり、会員社内外の方が積極的に学ばれた。

HaHaHa Osaka Creativity Awards学生部門2025報告

■開催日　：2026年2月6日（金）　14:00～19:30

■開催場所：扇町ミュージアムキューブ キューブ１（審査・贈賞式） およびさくらテラス（交流会）

■概　要　：審査会　　＜学生部門＞　51作品（テレビ： 35　ラジオ16）の応募。

1次審査会は博報堂会議室にて実施。

審査委員長：　田村俊樹 氏（クリエーターグループMAC/CM合同研究会委員長）

審査員：　　加藤 裕希 氏/パナソニック ハウジングソリューションズ、角川 岳志 氏/関西テレビ

喜多 真二 氏/大広WEDO、青木 大介 氏/電通、田中 幹 氏/博報堂、新開 誠 氏/春企画

奥野 勇 氏/日本アド・コンテンツ制作協会

課題提供社（会員社）：江崎グリコ、サントリーHD、ハウス食品、パナソニック、ロート製薬の各社様

＜一般部門＞　88作品（TVWEB：41 ラジオ：13　長尺：34）

審査委員長：　茂木健一郎 氏（脳科学者）

審査委員：　　中治信博 氏 （ワトソン・クリック）　西田二郎 氏（元読売テレビプロデューサー）

安部若菜 氏（ NMB48）　＊司会・進行アシスタント 中牟田佳苗 氏（大広）

■特記/詳細事項（主催 CM合同研究会）

一般・学生ファイナリスト、指導教官、広告主、会員社等133人が集った。学生部門ではAI活用の作品への評価にも時間を尽くし議論が白熱した。また昨年好評だった応募作品のフォローアップセミナーを開催し、広告会社３社のトップクリエーターが解説。次世代へ制作のアドバイスも行った。審査結果発表、表彰式の後、また審査委員も参加した交流会も行い盛会となった。

■贈賞　　学生部門　テレビ部門最優秀賞は、梅花女子大学文化表現学部情報メディア学科が受賞。

同優勝賞は大阪芸術大学、梅花女子大学、近畿大学の３作品が選ばれた。

ラジオ部門最優秀賞は大阪芸術大学芸術学部が受賞。

同優秀賞は大阪芸術大学が２作品、大阪経済大学が１作品が選ばれた。

一般部門　グランプリ及びHaHa賞：トヨタ自動車（トヨタのサステナビリティ/あおり運転囲み取材＊W受賞

Ha賞　　：関西電気保安協会（企業広告/関西電気保安協会ゲーム）

HaHaHa賞：京阪電気鉄道（超ひらパー兄さんTVCMシリーズ）

受賞クリエイター

フォローアップセミナー講師陣

一般部門審査委員

新企画　SPECIAL MEET UP SEMINAR報告

人材交流会員拡充委員会主催の新企画。交流拡大と会員拡充を　目的に新セミナー第２弾を開催。
登壇は吉本興業HD㈱泉副社長と大阪住みます芸人 span!氏を迎え「笑いの力を使った地域活性化」をテーマにここでしかしゃべれない話を語り、活発な質疑応答も行われた。後半の懇親交流会も盛会となった。

OSAKA AD-Lab委員会　講演会とセッション

日時：2026年3月27日（金）
場所：天満ガーデン
テーマ：リアルへの揺り戻し～トレンド大賞・予測から紐解く、若者の消費ムード～
登壇者：長田麻衣 氏（SHIBUYA109 lab.　所長）

「リアルへの揺り戻し～トレンド大賞・予測から紐解く、若者の消費ムード～」をテーマに、SHIBUYA109 lab.　所長長田麻衣 氏が来阪登壇。
Z世代を中心に若者世代を知り尽くした登壇者からZ世代のマーケティング手法を学んだ。
また後半ではOSAKA AD-Lab 委員会の香川委員長がモデレーターを務め、各副委員長３名が登壇し、長田氏に本音でセッショントーク。
広告主・媒体社（新聞・放送、WEBなど）・広告会社の視点で聞きたかった核心に迫り、具体的な展開や課題の解決方法が示された。

モデレーター：香川 亥一郎 氏（AD-LAB委員会　委員長/マンダム　執行役員）
インタビュアー：
　北村 昭宏 氏（産經新聞 大阪本社 メディアビジネス局企画プロデュース部長）
　金城 智博 氏（読売テレビ放送　ビジネス局 局次長 兼　営業部長）
　山﨑 浩史 氏 （大広デジタルソリューション本部　デジタルアカウント局
　　第２アカウントグループ部長）

更に会場参加者から積極的な質疑もあり、時間を超えたセッションが行われた。
その証として協会セミナー初の歩留まり100％が達成された。

参加者全員でZ世代の心理を学ぶことで、広告コミュニケーションのこれからを考え、また交流会も実施。Z世代の参加者が乾杯を行い、会の終盤は当日発売の登壇者の新刊本がじゃんけん大会で2名の方に贈呈サプライズもあり、盛会となった。

2026年度 全広連 静岡大会 （2026年5月 13日～14日予定）

JAPAN ADVERTISING FEDERATION IN
SHIZUOKA 2026

2026年度 全広連大会は静岡市で開催予定。（5/13、14）

「全広連日本宣伝賞」特別賞に公益社団法人2025年日本国際博覧会協会が受賞されます。

記念講演会
講　　師：齋藤 孝（さいとう・たかし）氏
講演テーマ：「広告とコミュニケーション」

第73回 全広連近畿ブロック会議
（京都、神戸、大阪の各広告協会参加の全広連近畿ブロック研修会）
※2025年度は大阪が運営主管

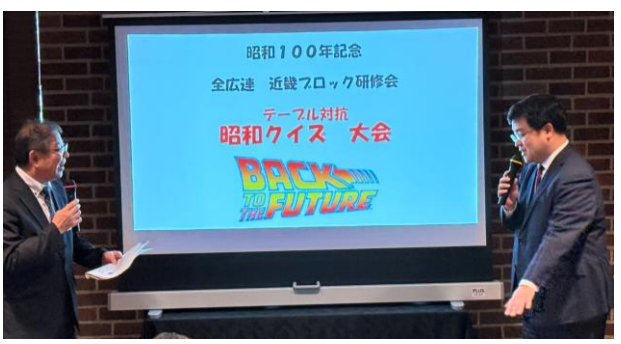
日時：2025年11月19日
場所：フィールドワーク/デザインポケット
　　研修会/大阪大学中之島センター（サロン・アゴラ）
テーマ：「昭和100年の魅力を体感し再発見！そしてミライへ」
登壇者：研修会　①アド・ミュージアム東京　副館長・渓朋子氏
　　②MBS毎日放送　福島暢啓アナウンサー
　　交流会　①京都・神戸・大阪の各事務局長

大阪広告協会の主幹により、第73回全広連近畿ブロック会議を開催。
「昭和100年の魅力を体感し再発見！そしてミライへ」をテーマに、京阪神の3協会から会員が集結。2025年が昭和換算で100年の節目にあたることから、広告の歩みを振り返り次世代へのヒントを探るプログラムを企画。
フィールドワークでは「たこ焼きの食品サンプル製作」を体験。大阪の食文化に触れつつ、昭和日本の緻密なものづくり精神を体感した。

研修会はアド・ミュージアム東京の副館長・渓朋子氏が登壇。膨大なアーカイブから貴重な映像や写真を紐解き、当時の消費者の欲望や社会背景を解説した。
懐かしいCMやグラフィック広告が紹介されるたびに、会場には感嘆の声が響いた。

主催挨拶と研修説明を行った鹿毛副委員長

続くクイズセッションでは、MBS福島暢啓アナの進行で展開。懐かしのキャラクターやコピーを通じ、当時の時代背景を読み解きながら昭和100年広告を振り返った。また「買取福ちゃん」の協力により、事務局長らが持参した昭和の骨董品を鑑定。予想外の高額査定に驚く場面も見られた。参加したベテラン会員は「懐かしい」若手会員は「逆に新しい」と語るなど、世代を超えた交流が生まれ、近畿ブロック研修会は盛況のうちに幕を閉じた。



3つの協会会員がグループに分かれ対抗戦で昭和クイズに挑戦。